

3 Assembly Hour (アセンブリアワー) について

アセンブリアワーは、アメリカのユニオン神学校における「マンディ・フォーラム」やイギリスのケンブリッジ大学における「フォーラム」の考え方を導入して、聖学院大学の理念に基づいた独自の教育・教養を学生たちが学ぶ場である。毎週水曜日の2時限目に、本学の教育方針に基づいた多様なプログラムが年間を通して用意されている。

まず、年度のスタートにあたっては、学長やチャブレンから学問研究、学生生活、生きる意味などに関したメッセージが語られる。その後は学部学科独自のプログラムとして、たとえば、本学の専任教員による学術講演会や、社会でご活躍の専門分野の方々（政治家、絵本作家、建築家、音楽家、狂言師、ドキュメント映画監督など）を招いた講演会や交流会、あるいは、ユネスコ、NPO、国際ボランティアなどの現場に従事されている方々を招いて体験や現状を語っていただく企画などが実施されている。これらは広く全学の学生に公開されており、学生にとっては新たな世界を知る有益な機会となっている。

更に、教職関連プログラムやキャリアプログラムといった、学生の必要に応じたプログラム、学生たち自身の研究発表や、「映画上映会」「海外研修発表会」「実習体験報告会」「留学生日本語弁論大会」「英語スピーチコンテスト」「インターンシップ報告会」「卒業論文発表会」などのプログラムもあり、それらは学科間交流の一助となり、また相互研鑽として生かされている。

アセンブリアワーには広範で多彩な企画が盛り込まれているが、聖学院大学独自の特色は、企画の一部を除き、その多くが地域住民に広く開放されているところにある。企画によっては地域住民との交流に発展し、そのことを通じて、コミュニケーション力を身につけ、社会で役立つ人材となる経験を得られ、学生にとっても非常に有益なものとなっている。